

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 サイドスワイプ・ソリッド	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.041	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：サイドスワイプ・ソリッド

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

比較対照ボール：サイドスワイプ

フレアーの幅 インチ

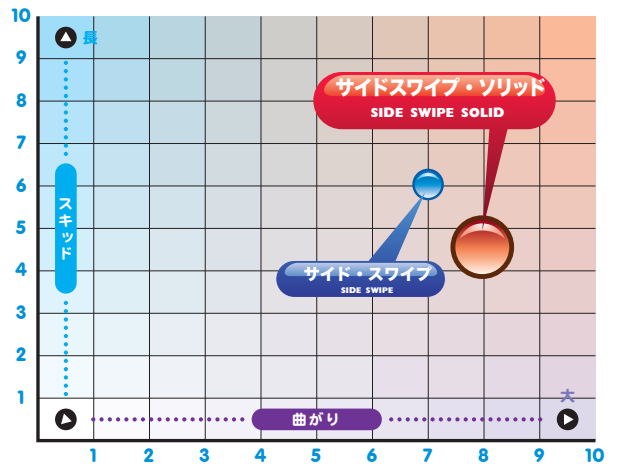
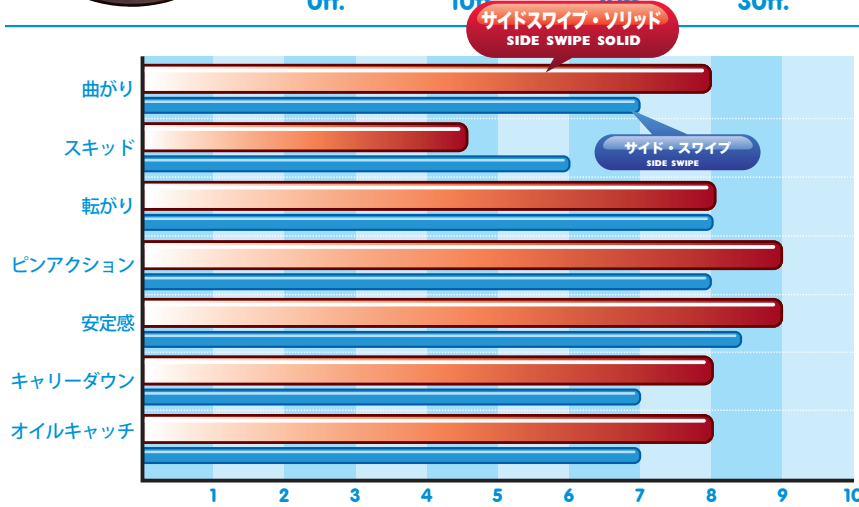
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンゲス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

COLUMBIA社のYellow Line、MP(Mid Performance)領域で光沢のある表面仕上げでスキッドさせ入射角の角度を取りやすいSIDE SWIPE、逆に光沢を消したSolid Coverを持ち、ドライゾーンでの過激な反応を抑え、軌跡をコントロールするDELIRIUM SHOCK。COLUMBIA社はYellow Lineでもただ単に走りを出し、遅めのコンディションだけに特化したPerformanceのボールだけでなく、ドライゾーンで過激にリアクションを出させないようにあえて表面の光沢を消してあるボールをつくり、様々なシーンに対応すべくコンセプトを開発を進めています。今回のSIDE SWIPE SOLIDはSOLID CoverStockを採用して、Mediumコンディションを中心にオイルが短めなコンディションや手前のオイルが多いHouseコンディションで優位にラインを攻めることができます。第一印象はSIDE SWIPEと比べると光沢が消えていることとSOLID CoverStockなので、手前のオイルの掴み具合が強く感じることで。コンディションの変化が進み、徐々にインサイドのラインに入ってきたときにはSIDE SWIPEが使いやすく、ショートなコンディションの投げはじめて尚且つ過激な動きを作らずにラインを取ろうとした場合、手前のオイルを多く感じるので走り過ぎないボールの選択が必要になってきます。そういうコンディションでこのSIDE SWIPE SOLIDを使うと手前のオイルに弾かれることもなく、ボールを十分コントロールできるイメージを持って頂けると思います。近年日本でも数多くのsportyな大会が増えてきて、状況に応じた性能のボール保持が必要になってきている現状です。そのコンディションにあわせボールをマネジメントしなければならない時代ならば、同じ領域でも性格の異なるボールを持つことを臆することはありません。光ったボールでは攻めづらいラインをややオイルを多く使いながら中目のラインを攻める。そんな有効的な使い方ができるボールです。

特記事項

MPクラスでは上位の領域で、大きくラインを取るイメージではなくオイルの中を泳がしタイトなラインで効力を発揮するでしょう。低めの重厚なピンアクションがストライクの角度の幅を広げてくれます。